

# 備えをつねに

## 麻生まちづくり学校 2007 年度前半開講

麻生まちづくり学校本年度前半の講座第 1 回が 7 月 22 日（日）麻生市民交流館「やまゆり」で開講しました。当日は、地域まちづくりに関心があつて応募された 31 人の方々とまちづくり市民の会メンバーを含め多数が出席し、会議室は満員の盛況でした。

**講座のねらい** 昨年度の最終回に行ったグループディスカッションの結果を生かしてテーマを引続き「地域防災」とし、内容については受講者が親睦を深めながら参加でき、受講結果を地元の自主的な防災活動に生かせるよう、実習を多く取り入れました。具体的には、災害が発生したときに被害そのものを減らすという考え方で講座を組み立てました。



### 第 1 回講座開催 7 月 22 日（やまゆり）

- ・最新の都市災害情報（川崎市危機管理室小松主幹）
- ・木造住宅の耐震化推進（白井部会長）  
無料で木造住宅の耐震診断を行う範囲が本年 6 月 1 日から広がったこと、手続きも簡素化されたこと、耐震工事の助成金制度などについて説明がありました。
- ・防災地図作り準備講座（植山利昭崎市災害ボランティアネットワーク代表）
- ・第 3 回講座（9 月 15 日）の防災地図作り体験実習の準備について説明がありました。

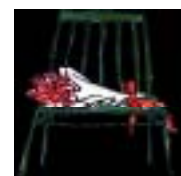
### 第 2 回講座開催 8 月 18 日（麻生消防署）

防災課・狩野救命係長ほか 5 人の指導で救急救命訓練を実習しました。

参加者は 5～7 人ずつ 5 グループに別れ、1 人ずつ心肺蘇生法、AED、三角巾手当の指導を受けました。万一、災害発生時には素早く的確な救命処置によって人命を救うことができるようになることが期待されます。（写真は 3 面に掲載）

### 防災のポイント

地域防災にとって大切なこと 住まいが壊れないようにしよう。  
 地域の安全性をチェックする 地域の防災地図作りに参加しよう。  
 災害発生時には身近の人命を救うこと 救急救命ができるようにしよう。



### 開講直前、中越沖地震が発生

7 月 16 日に中越沖地震が発生しました。テレビや新聞は、築年数の古い家屋の倒壊と倒壊による死者が高齢者であったことを報じていました。今回の木造住宅耐震化推進の講座が役立てば幸いです。また水道・ガスなど都市基盤設備の長引く停止が被災後の生活復旧を遅らせていることも報道されました。第 4 回の講座（都市インフラの防災）に関心を持っていただければと思います。



## 盛況でした！ 講座「地域デビューへの招待状」 第2回「地域デビューできましたか？」開催

### ♪ 参加者 50 名・参加団体 22 ♪

梅雨の季節、薄日が射す 7 月 21 日（土）に、麻生市民交流館やまゆり全館を使って行われた「地域デビューへの招待状」の第 2 回『地域デビューできましたか？』には参加者 50 名、参加 22 団体が集いました。1 階サロンの展示会場では参加者が熱心に展示を見たり、説明を求めたり、またあちこちで交流の場面が見られました。

講座参加者は、今回初参加の地域デビュー希望の方 10 名を新たに加え、前回から参加の方と現在市民活動で活躍中の先輩がそれぞれの立場で自由に語られました。



### ♪ 先輩から力強い励まし ♪

第 1 部では、まず、地域デビューしようという方より数歩先を行く先輩から活動履歴や活動に参加したきっかけ、活動の中で生まれた喜びや悩み、そして活動を始めたことで生活にどのような変化が起きたかなどを具体的に話していただきました。また、前回参加者ですでに活動を始めた方の報告につづいて、まだ踏み切れずに迷っているという率直な発言には、思い切って第一歩を踏み出したことで積極的な自分を発見することができたという先輩からのアドバイスがありました。

第 2 部はワークショップスタイルで 4 グループの話し合いが和やかな中に活発に行われました。今回は何人の方が地域デビューされるのか、参加者・参加団体からの報告が楽しみです。

（市民活動支援部会・講座企画運営小委員会）



## あさお落書き消し隊



新百合ヶ丘駅周辺の美化と犯罪の抑止を目指す「あさお落書き消し隊」は、今年も市民の会を代表して、10月14日に行われる「区民まつり」に参加します。

ポスターの展示をはじめ、出前落書き消し、落書き消しフォーラム（12月1日開催）のチラシ配布も予定しています。

また、9月14日には、新百合ヶ丘駅周辺の落書き状況の事前調査を行い、11月10日には、市の協力を得て、一斉落書き消しを行う予定です。



（あさお落書き消し隊）

麻生まちづくり市民の会と新百合ヶ丘駅  
周辺景観形成協議会で編成された組織です。



## 市民活動支援部会



7、8月の部会では、「市民の会」と「\*社団 あさお市民活動サポートセンター」の関係について論議した結果、次の二点を確認しました。

(1)「市民の会」と「サポートセンター」はその事業の内、重なる活動内容について混乱が生じないように役割分担を明確にすること。

\*「社団 あさお市民活動サポートセンター」：4月に開館した「やまゆり」を運営する市民組織。活動の柱の一つとして「市民活動支援」を担っており、具体例では市民の会と同じ『相談窓口業務』を事業として打ち出している。

(2)(1)を機能させるためには、情報交換を密に行い、スムーズな協力関係を実現させることが不可欠であること。

### 市民活動支援相談窓口小委員会

これまで進めてきた情報収集の最終段階として情報開示の可否を確認する作業があり、現在そのアンケート調査を進めています。

なお、9月開設予定のやまゆりでの相談窓口業務にはメンバー全員が参加することも決まりました。(講座企画運営小委員会報告は2面に)



第2回「地域デビューできましたか」の展示風景

## まちづくり推進部会



### 地域通貨導入小委員会

地域通貨導入の目的は、地域通貨を通して地域のコミュニティづくりです。

コンサルタントの錦織氏から「直接すぐにコミュニティづくりにはつながらなくとも、最もやりやすい所から手を付けてみるのも一つの方法」といったアドバイスがありました。

地域通貨には、互助方式・現金方式・併用方式などのやり方があり、最初は現金方式からはじめ一歩進めて互助方式へと移っていくのがいいのではないかと方向性が見えてきました。

地域通貨を「どのようなグループに」「どのような形で利用出来るか」「スポンサーの可能性は」「進めるための組織は」などそれぞれが勉強し、次回の委員会で発表しあい、総論が決まったら各論の中で細かい事は決めて行くことを確認しました。

11月に利用団体や一般市民をまじえてフォーラムを行う予定です。

### 地域まちづくり支援小委員会

各地区の各種防災関連資料の検討・協議を通して、個人の防災の行動イメージを高めることが重要であることの共通認識に立つことができました。今後の支援活動のポイントは、家庭における家族一人ひとりの「防災意識」の喚起です。

アンケート方式で「日頃に備え」「発生時から時間経過に応じた行動トレーニングの実際」を、モデル町会・自治会に働きかけて実施する方向に整理・しぼられてきました。



(麻生まちづくり学校第2回講座風景)



## “美しいしんゆり”をめざします！

～新百合ヶ丘駅南町内会と王禅寺  
東の住民有志で公園愛護会結成～

### ◆ 愛称は“きずな” ◆

美しく整備された昭和音大敷地内は「しんゆりアートパークス」と名づけられ、道行く人たちに安らぎを与えてくれています。それに比べ、隣接する市有地が未整備で雑草が生い茂っているのが一部の地域住民の間で問題になっていました。関係部署に相談するなどしてきましたが、最終的に“地域のことは地域住民の手で解決しよう”と周辺住民自らが立ち上がり、『しんゆりアートパークス公園愛護会』～愛称“きずな”～を結成しました。

構成メンバーは、新百合ヶ丘駅南町内会や王禅寺東の有志の方たち。すでに活動を始めている皆さんは「新百合ヶ丘を真に“美しいしんゆり”にしていきたい。そしてその活動が麻生区全体に、さらには川崎全市に波及して行ってほしい」と大きな夢を語ってくれました。

### 昭和音大も仲間に

昭和音大では独自に「学生ボランティア活動」を展開しており、大学近辺や駅周辺の清掃・草取りを毎月2回実践しています。そこで、公園愛護会へ法人として参加し、活動しています。



ボクも一緒に草取り“きずな”の皆さん

先輩も、がんばってます！



2004年5月に、上麻生隠れ谷公園の再整備工事ワークショップに参加した公園周辺住民を中心に結成されたのが公園愛護会『隠れ谷俱樂部』です。メンバーは約15名。同時に結成された『あさおグリーンネットワーク』と公園をコミュニケーションの場にしようという目標を共有しながら活動を進めています。

マンションに囲まれた公園はまるで中庭のよう。整備前は樹木が育ち放題で見通しが悪く、防犯上の不安もありましたが、今では子どもたちが伸び伸びと遊び、家族連れが憩う場としてすっかり定着しています。これからは更に大人が集い、ふれ合うコミュニケーションの場となるのが夢とか。今年もフリーマーケットを10月20日(土)に開催しますが、これまで以上に交流の広がりが期待できる新趣向のイベントを企画中とのことです。

### 編集後記

市民の会の活動は「やまゆり」という場を得て更なるひろがりをめざします。ノウハウを提供し、地域の方たちを支援する「出前落書き消し」や防災をテーマに地域のまちづくり人材を育成する「麻生まちづくり学校」、活動団体や地域デビューする人を支援する「講座」、そしてまもなく開設する「相談窓口」など、市民の会は広い世代・さまざまな立場の人々を誘い込んで“人と人とのふれあい交流の会”的色彩を色濃くしてゆけそうです。(R)

### 今後の予定(どなたでも傍聴できます。)

運営委員会: 10月9日(火) 18時30分から

市民種別協議会: 10月10日(水) 18時00分から

まちづくり推進協議会: 10月1日(月) 18時30分から